

文京共創フィールドプロジェクト（^{ビー}B^{プラス}+）の実施結果等について

1 事業概要

地域課題や社会的課題の解決に向けて、スタートアップ企業等が行う先進的・画期的な技術等による実証事業を募集し、採択した事業に対し、企業等と区の関係部署とのマッチング、区有施設での実証事業の場の提供、区の広報物を活用した事業の周知及びふるさと納税を活用した資金調達等の支援を行う。

2 行政連携サポート

(1) 事業募集

令和4年10月から受付開始(通年実施)

(2) 事前相談数

令和6年度 24 事業

令和7年度(4～7月)15 事業

(3) 採択事業

3事業

事業名	読書教育のオンライン習い事サービス「ヨンデミー」を活用した文京区育成室での読書推進事業
実施企業等	(株)Yondemy(東京都中央区)
事業概要	育成室において、読書アプリを活用した読書教育の実証実験を行う。 幼少期の読書習慣がその後の読書継続に繋がることから、区として子どもが適切な時期に適切な本と出会える環境を整えていくよう取り組む。 実証実験を通じて文京区発の新しい読書教育モデルを構築し、子どもたちの学びと成長をサポートし、豊かな読書体験の普及を検証する。
採択時期	令和7年2月

事業名	教員の働きがい向上を支援する「教師エンゲージメントサーベイ」の実証事業
実施企業等	(株)カモマン(東京都世田谷区)

事業概要	教員の職業特性に基づき、働きがいと職場環境を診断し、組織の魅力・課題・傾向等を可視化することで、教職員を取り巻く諸課題の解決等を目指す。 教師エンゲージメントサーベイを活用した職場環境改善の効果検証を行う。
採択時期	令和7年8月

事業名	みまもり電池サービス実証事業
実施企業等	ノバルス(株)(東京都千代田区)
事業概要	高齢者の見守りの一環として、センサー・通信機能を内蔵した電池形状のIoTデバイスである、みまもり電池サービスを試行導入し、有効性の確認と活用度を検証する。
採択時期	令和7年8月

3 令和6年度資金調達サポート

(1) 事業募集

令和6年4月 18 日から6月 21 日まで

(2) 応募事業数

5事業

(3) 採択事業

2事業

(4) 寄付金募集期間

令和6年 10 月 15 日から 12 月 13 日まで

事業名	ポップアップストア誘致を軸とした商店街の活性化および DX 実装
実施企業等	(株)COUNTER WORKS (東京都港区)
事業概要	ポップアップストアの誘致を軸に、空きスペースや定期イベント・お祭りの活性化を通じて、商店街全体のリブランディング、まちづくりに取り組む。短期スペースレンタルを事業化し、事業収益をもとに商店街をリブランディングすることを目指す。
事業実績	各商店街への働きかけや商店街連合会理事会でのプレゼンなどを行い、1件の商店街と具体的な検討をしたが、ポップアップストアの誘致には至らなかった。活用可能な空き店舗等がある商店街が少なかったため、地域ニーズに特化した実証アイデアを企画し、商店街との関係を強化して事業を進められるかが課題である。

ふるさと 納税金額 (達成率)	[目標金額]1,100,000 円 [寄附金額] 16,000 円 (約 1.4%)
-----------------------	--

事業名	文化と歴史の町「文京区」でロケ地 bot
実施企業等	(株)たびふぁん（東京都港区）
事業概要	文京区の隠れたロケ地を発掘し、LINE を使ってレコメンドする新しい旅の形を提案する。コンテスト形式で選ばれたスポットを「ロケ地 bot」に実装し、LINE 上で簡単な質問に答えるだけで、利用者の志向にあったロケ地をおすすめし、回遊性の向上を図る。
事業実績	地域の大学生と連携したワークショップや LINE bot によるロケ地体験の導入により、区内外から多様なロケ地活用アイデアを集め、審査会で最優秀賞を選定した。1か月で約 600 名のユーザー登録と 100 名以上の応募があった。事業手法については、新たな観光需要の創出に繋がる可能性もあり、有効的な活用方法を検討していく。
ふるさと 納税金額 (達成率)	[目標金額]3,500,000 円 [寄附金額] 100,000 円 (約 2.8%)

4 令和7年度資金調達サポート

(1) 事業募集

令和7年4月 17 日から6月 20 日まで

(2) 応募事業数

0事業

5 今後の方向性

令和7年度で資金調達サポートを終了し、令和8年度からは行政連携サポートへ一本化することと、事業スキームの見直しを図る。